

令和8年度 上尾市水道事業実動班 活動報告

上尾市水道事業では、大規模地震や風水害への備えとして、災害対応に特化した「実動班」を令和2年3月に編成いたしました。

「実動班」では、大規模災害を想定した各種の講習会や訓練を重ねることで、迅速な災害対応ができる職員を育成しています。

上尾市水道事業実動班総合訓練を実施

令和8年10月8日（木） 上尾市上下水道部敷地内において、「令和8年度 上尾市水道事業実動班 総合訓練」を実施しました。

本訓練は、各講習で学んだことを基に、緊急時においても、実動班員全員がより迅速かつ的確な行動がとれるよう行う、実践的な訓練です。昨年度までは一部の実動班員のみで実施していましたが、本年度は初めて全実動班員を対象として実施しました。班員は3班に分かれ、それぞれの班の指揮者が、班員のレベルに応じた訓練に指名し、参加する形態としました。

班ごとに指揮者を先頭に、経験豊富な職員が班員を指導し、事前練習を行ったことで、全実動班員の技術力の底上げを図り、当日を迎えました。

閉会

訓練開始前には上下水道部長から、一生懸命取り組み何かを掴むことが一番大切である。失敗しても下を向かず、胸を張り前を向いて取り組んでほしいと、あいさつがありました。



給水車訓練

開設されている避難所の蛇口から水が出なくなったことへの対応を想定し、「**給水車による応急給水**」を実施しました。午前には給水車に蛇口を増設し、給水車から直接応急給水する重力訓練、午後には給水車からトラックに積載した可搬式応急給水タンクに給水する圧送訓練を行いました。

※給水車から可搬式応急給水タンクへの圧送は、圧送先が受水槽等の場合にも有効な方法です。



給水車(重力)訓練



1.給水車のタンク内を確認



2.給水車に注水前にホースを準備



3.給水車に注水



4.給水車に蛇口を増設し、応急給水

給水車(圧送)訓練



1.可搬式応急給水タンク積載



2.給水車への注水



3.給水車から可搬式応急給水タンクに注水するホースをセット



4.給水車から可搬式応急給水タンクへの圧送

管洗浄(座学)

指揮能力養成課程を対象に、配水管に漏水が発生した際、事実を的確に把握した上で現地の状況を考慮し、いち早く復旧を図るための方法を導き出し、濁水が発生した場合には、的確な管洗浄を行うことで、効率良くかつ、影響を最小限に抑える方法の訓練として管洗浄(座学)を実施しました。

漏水発生日時、場所、対応可能な職員数、修繕工事は断水により実施するなどの条件及び問題が記された問題用紙と、1500分の1図面、500分の1図面、竣工図が配布され、班ごとに10分間で対応策を検討し、その後、それぞれの班の指揮者に報告しました。



班ごとに対応方法を検討



指揮者に対応方法を報告

HIVP配管(実技)

耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル（HIVP）管を用い、配管訓練を行いました。これは緊急時の仮配管や、応急給水栓の製作等に活用する訓練です。また、通常業務における業者指導にもつなげます。

各班3人で作業し、制限時間30分で仕上げるのが課題です。管の切断・面取り・糊付け・接合を協力して行い、全ての班が時間内で完成させました。



1. HIVP管を切断

2. HIVP管とソケットに
接着剤を塗布

3. HIVP管とソケットを接合

閉会

本訓練に対する講評の後、閉会しました。



講評（上下水道部長）

日常的には行っていないことを災害時には迅速に行わなければならない。そのためには日々の訓練が非常に大切になる。本訓練を通して考えることが多々あったと思うので、今後の糧にしてもらいたい。



講評(技術顧問)

技術は繰り返し行うことによって身体に染み込んでいく。

能力の高い人であっても1人では1人分しかできないので、今後も皆で助け合い、精進してほしい。



閉会(上下水道部次長)

災害だけではなく、事故も含めていつ起こるか分からない。引き続き訓練や講習会を通して更なる技術力・対応力の向上に努めてほしい。

緊急時においても、
より迅速かつ的確な
行動がとれるよう、
今後も定期的に訓練
を実施してまいります。

